

# 晴天下、お祭一色に!!

集い合う祭りの三日間

## 九十九山から:

◆今夏も京都市相原満氏、札幌市浅齊藤和子氏、新座市佐藤充克氏、函館市佐藤実氏、帯広市瓜生和幸氏、札幌市花松英子氏、同糠塚信

◆業田中勝社長はじめ50人で本殿周辺草取、8日九十九大学自治会と同窓会110人は境内草刈社殿清掃、17日例祭後宮下さくら会が清掃をそれぞれ奉仕されました。

◆田一憲氏より篤志奉納金送付頂き、札幌市三分二正記氏は8月奥様共

◆鏡餅他奉獻、中士別坪田公義氏は

◆例祭前7月3日株式会社田中工

◆業田中勝社長はじめ50人で本殿周辺草取、8日九十九大学自治会と同窓会110人は境内草刈社殿清掃、17日例祭後宮下さくら会が清掃をそれぞれ奉仕されました。



▲仲よし二人 佐藤正敏氏  
▲おまえ、つよくなつたな！ 粟野 薫氏

## 新しいおふだをまつってお正月を

”集い合う祭りの絆に郷土愛“  
118回士別まつりは7月14・15・16日渡辺正一祭典委員長はじめ役員専心奉仕、晴天下、祭り一色でした。境内野外舞台での宵宮フェスティバルは吹奏楽民謡歌謡ショード幕開け。15日朝8時から佐藤元保新宮司斎主で御例祭、社殿前で記念撮影9時御神幸式発興、装飾車

ものがあらたまる新年を迎える前に、しめなわを新しくし、神棚をお掃除して、新しいおふだをお祀りしましょう。

天照皇大神宮と士別神社の2体を合せおまつりするのが正しい祀り方です。神棚には、天照皇大神宮と士別神社の2体を含せおまつりするのが正しい祀り方です。

生活や職業上の神様、各神社の御神札も合せてお祀りしてよろしいです。

歳徳様（としがみさま）は正月中、神棚や床間など清浄な所に張つてお祀りします。

古いおふだがいっぱいになりましたら神社へお持ち下さりましょん。

喪のあつた場合も、新しいおふだはお受けけし、鏡もちな

どもお供えします。

家庭や職場に中心となる神棚を祀るのは民族の美風です。

新家庭や未だお祀りしていない方もぜひお祀りしましょう。

神仏を拝み良い手本を示すことで、子供も見習つて心豊かに生長します。お正月は家庭教育の大重要な機会ととしても

両を列ね22ヶ所で駐輿祭。国道40号線中心街は士別小僧会を核に各地みこし会70余人在威勢よく担ぎ、士別南中生60人が白丁奉仕威儀物を奉持、斎員伶人役員供奉員が徒歩行列で渡御しました。駐輿所毎に今年も大国舞が奉納され小餅やお菓子が撒かれ人気でした。

自衛隊音楽隊・士中・南中・士

別幼稚園の音楽行進に続きお稚児さん・子供花みこし・乙女舞・つづくも太鼓と連なり、別順路で4基の子供みこしが巡り、恒例の中央通步行者天国お祭広場では多彩な催し、柔道・剣道、16日は子供相撲・弓道大会、両日市民文化センターで各種展示会や茶会が開かれ奉納に厚くお礼申し上げます。

生涯学習センターいぶきで写真展が開かれました。ご協力ご応募ご賛同ください。おまつりの絆に郷土愛あふる例大祭に終始しました。

平成29年干支は丁酉、60干支の34番目。丁は十干の第4位、字義は釘の頭、草木が成長するさま、転じて壯丁の意味をも示しています。

酉は十二支の第10位、古字酉は酒つぼを描いた象形文字、方位は西、時刻は18時前後、月では旧暦8月を表わし、鶏が当たられました。

野鶏の飼養化は紀元前3千

年ピーグ時には25戸で590羽に達しました（市史3集）が、今は採卵鶏800羽われ（市史）、先の大戦前後の食料不足時には市街の家々でも鶏小屋を作り、あるいは放し飼いの鶏もよく見かけたものです。

昭和30年代ゲージ養鶏の考案で大量飼育が普及、平成2年ピーク時には25戸で590羽に激減（士別市HP）です。物価の優等生、年間400億個の消費量のわが国は世界トップクラスです（農林省）。

闘鶏の起源は占い、ボクシングのバントム級等階級は、

もともと闘鶏用語とか。和歌山県田辺市の闘鶏神社は平家の物語壇ノ浦ゆかりの観光地點。お酉様、酉の市は11月の酉の日の祭礼で、今年は三の酉まであります。

太陽を迎える靈鳥、絵馬で



▲当社絵馬（竹内國泰氏画）

時に長鳴鳥が登場しますが、時を知らせる目的、闘鶏のた

ち17種は国の天然記念物です。わが日本神話で天の岩戸開

して愛用されました。

士別では明治37年頃、金井牧場で飼っていたといわれ、

ものでした。

太陽を迎える靈鳥、絵馬で

人気の酉、とりこむ、とり入れるなど幸運を呼ぶ酉。平成3度目の酉年を鶏鳴暁を告げ

る吉兆の年として招来したい

ものです。

（公）

3

つくも山

# ごあんない

厄年の厄を祓つてお役目の良い年に…

## 厄はらい 安全 祈願祭

すがすがしい新春の神前で健康と繁栄を祈願しましょう

空手道武徳会初けいこ	7日午前11時30分
古峯龍尾神社祭／1月13日	午後2時、境内社前で
紀元祭／建国記念の日	2月11日午前11時
人形供養祭／3月3日午後3時	人形供養祭／3月3日午後3時
社務所前広場で。不要の人形等お持ち下さい。事前受付	社務所前広場で。不要の人形等お持ち下さい。事前受付
1月20日以降社務所へ	1月20日以降社務所へ

日 時 1月3日(火)午前10時より1回  
1月8日(日)午前10時より1回  
1月15日(日)午前10時より1回  
※社務所で受付をします。時刻20分前迄において下さい。

祈願料 三・〇〇〇円以上のお志

ご神饌・長寿ばし・縁起ふきん等を授与します。

※他の期日または出張奉仕希望の方は社務所へご連絡下さい。



▲九十九山を守る会冬囲い奉仕 10月

平成29丁酉年 厄年・祝年			
性別	数え年	生れ年トト	該当
女	18	平成12年 たつ	前厄
	19	平成11年 う	本厄
	20	平成10年 とら	後厄
男	24	平成6年 いぬ	前厄
	25	平成5年 とり	本厄
	26	平成4年 さる	後厄
女	32	昭和61年 とら	前厄
	33	昭和60年 うし	本厄
	34	昭和59年 ね	後厄
男女	37	昭和56年 とり	当り年
	41	昭和52年 み	前厄
男	42	昭和51年 たつ	本厄
	43	昭和50年 う	後厄
男	49	昭和44年 とり	当り年
	61	昭和32年 とり	還暦
	70	昭和23年 ね	古稀
女	73	昭和20年 とり	当り年
	77	昭和16年 み	喜寿
	80	昭和13年 とら	龜寿
共	85	昭和8年 とり	当り年
	88	昭和5年 うま	米寿
	90	昭和3年 たつ	卒寿

■奉仕年男年女の受付、厄除け招福、諸願成就  
1月30日迄、神社総代又は社務所へお申し込み下さい。  
平成29年の当り年、酉年生まれ、厄年歳祝、特別奉仕ほか、  
どなた様でもご奉仕を!!  
参加初穂料 金一万円 (カミシモ含)  
神事奉仕、直会、福マス、酉年土鈴、絵馬、福豆、福餅ほか授与。  
厄祓いの受付 (祈願料は1月の厄祓いと同じ)  
節分の日厄祓いも受付。午前8時から正午まで随時受付奉仕  
します。又は午後2時40分まで社務所へおいで下さい。

## 節分祭福まきついな式

2月3日(金)午後3時より

2月3日午後3時から  
カミシモ着用の年男年女により賑やかに、福まき、景品入りの福豆、福餅、福飴など沢山まきます。  
▲撮影奉納／加藤幸男氏

2月3日午後3時から  
カミシモ着用の年男年女により賑やかに、福まき、景品入りの福豆、福餅、福飴など沢山まきます。  
▲撮影奉納／中村博之氏

土別神社ホームページアドレス <http://shibetsu-jinja.jp/>

平成28年12月3日

つくも山



つくも山 第190号  
平成28年12月3日  
士別神社社務所  
〒095-0008  
北海道士別市九十九山  
☎23-2243・FAX22-2553  
士別神社ホームページ  
[検索](#)



撮影奉納／中村博之氏

## 初もうで

### 歳旦祭

元旦午前10時より斎行

元旦午前0時、太鼓を打ちます。拝殿のとびらは夕方5時まで開いております。  
◆おみくじ、ハマ矢、絵馬、熊手、各種お守り等は元旦授与所又は社務所へ  
◆元旦のお祓い、ご祈祷も同様受付奉仕  
つても太鼓／午前0時より社務所前野外舞台で弓道初射会／午前0時より境内弓道場で日本詩吟学院岳風会初吟詠／昼11時より拝殿奉納  
おさそい合わせご参拝ください。  
下士別二之宮八幡神社では午前11時より

はたちの旅立ち 1月8日(日)午後0時30分より

□当日時間までに社務所へ(会費等不要)  
□新成人の皆様の前途を祝い、ご活躍を祈願してお守り・お赤飯他をさしあげます。

## 成人祭

士別神社…はればれと参拝の新成人 ↓平成28年

松納祭＝どんど焼き日程  
1月15日(日)午前9時火入式  
1月15日(日)午前9時火入式  
お焚き上げ下さい (プラスチック類は燃やせません)

夜間の持ち込みはできません!  
朝9時より  
夕方4時で終ります

## 土別神社

TEL 23-2244  
FAX 22-2553  
へ

新年家祓・会社工場安全祈願始業祭・交通安全車両入魂式・機械修祓・地鎮祭・上棟祭・引越祓・創業開店繁栄祈願・合格祈願・他各種祭事は早めにご依頼を神事諸祭事信仰生活上の種々のご相談は電話またはFAXでお気軽にどうぞ

土別神社ホームページアドレス

<http://shibetsu-jinja.jp/>